

参考書式

見積書/内訳書(請求書)

山田 太郎 様

宛名は本人宛
(名字のみ可)

〇〇工務店
所在地

事業所印

〇〇年〇月〇日

内訳書の日付は必ず工
事完了以降の日付を記
入してください。

事業所印は見積書・内
訳書・領収書すべて統
一してください。

写真番号	名称	内容(仕様)	単位	数量	単価	金額	介護保険対 象部分	算出根拠
	手すり							
①	玄関手すり	L-1200×600						
	丸棒	メーカー名〇〇 型番△△ 形状・寸法(ディンプル32)	m	1.8	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	ブラケット	メーカー名〇〇 型番△△	個	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	ブラケットエンド	メーカー名〇〇 型番△△	個	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	コーナーブラケット	メーカー名〇〇 型番△△	個	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	補強板 (ブラケットベース)	メーカー名〇〇 型番△△ 寸法(110幅)	m	2.0	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	取付手間		式	1	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	計					〇〇〇	〇〇〇	

手すりの長さは実寸で
お願いします。見積書・
写真・図面のいずれか
に記載があれば結構で
す。
オーダーの場合はオー
ダー品と記入してくだ
さい。

ブラケット・補強板は
見積書・写真・図面
のいずれかに取付
箇所が分かるように
記入してください。
屋外手すりなどの支
柱については、高さ
も記入してください。

- 諸経費は工事費用総額の1割まで認めます。
- 工事費用が変更となった場合、工事費用に応じて諸経費・取付費を計上してください。
(工事費用が減額の場合は、按分して減額すること。)

参考書式

見積書/内訳書(請求書)

山田 太郎 様

宛名は本人宛
(名字のみ可)

〇〇年〇月〇日

内訳書の日付は必ず
工事完了以降の日付
を記入してください。

〇〇工務店
所在地

事業所印

事業所印は見積書・
内訳書・領収書すべ
て統一してください。

写真番号	名称	内容(仕様)	単位	数量	単価	金額	介護保険 対象部分	算出根拠
	段差解消							
①②	浴室床改修	床の嵩上げ 10cm						
	既存床タイル撤去		式	1		〇〇〇	〇〇〇	
	床 コンクリート	厚10cm 溶接金網共 材工共	式	1		〇〇〇	〇〇〇	
	床 タイル下地モルタル	材工共	式	1		〇〇〇	〇〇〇	
	床タイル	メーカー名〇〇 型番△△ 寸法(50×50)	m ²	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	タイル張手間		人	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	排水ユニット	メーカー名〇〇 型番△△ 寸法(196×196)	個	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	同上接続手間	排水塩ビ管共	人	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	残材処分費		式	1		〇〇〇	〇〇〇	
	計					〇〇〇	〇〇〇	

嵩上げの全体部分が
分かるように写真を
撮ってください。
また、スケールを入
れた写真も併せて撮
ってください。平面図
には寸法を入れ、改
修箇所が分かるよう
に斜線等でマーキン
グしてください。

○諸経費は工事費用総額の1割まで認めます。

○工事費用が変更となった場合、工事費用に応じて諸経費・取付費を計上してください。(工事費用が減額の場合は、按分して減額すること。)

参考書式

見積書/内訳書(請求書)

山田 太郎 様

宛名は本人宛
(名字のみ可)

〇〇工務店
所在地

事業所印

〇〇年〇月〇日

内訳書の日付は必ず
工事完了以降の日付
を記入してください。

事業所印は見積書・
内訳書・領収書すべ
て統一してください。

写真番号	名称	内容(仕様)	単位	数量	単価	金額	介護保険 対象部分	算出根拠
	床材変更及び段差解消							
①	1階和室床改修							
	既存床材撤去	畳、床板、根太、大引、束等撤去	m ²	〇		〇〇〇	〇〇〇	
	敷居撤去	1.800 1箇所	式	1		〇〇〇	〇〇〇	
	束石	コンクリートブロック 200×200×150	個	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	鋼製束	メーカー名〇〇 型番△△ 高さ	個	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	大引	杉4.000×105×105@910	本	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	必要長さ×ロス分
	根太掛け	杉4.000×105×45	本	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	必要長さ×ロス分
	根太	杉4.000×54×45@303	本	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	必要長さ×ロス分
	ラワン合板	(床面積分)1.82×0.91×〇枚	枚	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	床面積×ロス分
	フローリング	メーカー名〇〇 型番△△ 寸法(1.818×303×厚12)	m ²	〇	〇〇	〇〇	〇〇	床面積×ロス分
	幅木	メーカー名〇〇 型番△△ 又は 杉 2.000×60×12	本	〇	〇〇	〇〇	〇〇	必要長さ×ロス分
	大工手間		人	〇		〇〇〇	〇〇〇	
	普通作業員		人	〇		〇〇	〇〇	
	残材処分費		式	1		〇〇	〇〇	
	計					〇〇〇	〇〇〇	

(事前)
嵩上げの全体部分分かるように写真を撮ってください。
また、スケールを入れた写真も併せて撮ってください。
平面図には寸法を入れ、改修箇所が分かるように斜線等でマーキングしてください。
(事後)
全体が分かるように写真を撮ってください。根太・大引等の下地工事を伴う場合は、下地の工程写真を添付してください。
階段の滑り止め工事については、各段に番号を貼り、段数が分かるようにしてください。(1枚で分かりにくい場合は何枚かに分けて撮ってください。)

○諸経費は工事費用総額の1割まで認めます。

○工事費用が変更となった場合、工事費用に応じて諸経費・取付費を計上してください。(工事費用が減額の場合は、按分して減額すること。)

参考書式

見積書/内訳書(請求書)

山田 太郎 様

宛名は本人宛
(名字のみ可)

〇〇工務店
所在地

〇〇年〇月〇日

事業所印

内訳書の日付は必ず
工事完了以降の日付
を記入してください。

事業所印は見積書・
内訳書・領収書すべ
て統一してください。

写真番号	名称	内容(仕様)	単位	数量	単価	金額	介護保険対 象部分	算出根拠
	扉取替え							
①	扉撤去	既存扉撤去処分費含	式	1		〇〇〇	〇〇〇	
	引き戸	メーカー名〇〇 型番△△	枚	1	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	引き戸取付費		式	1		〇〇	〇〇	
	計					〇〇〇	〇〇〇	

(事前)

新規引き戸の製品名を記
載してください。
平面図には、改修箇所が
分かるように線等でマー
キングしてください。

オーダーの場合、寸法を
記入し、メーカー名〇〇、
型番△△のタイプのオー
ダーと記入してください。

(事後)

全体が分かるように写真
を撮ってください。

○諸経費は工事費用総額の1割まで認めます。

○工事費用が変更となった場合、工事費用に応じて諸経費・取付費を計上してください。(工事費用が減額の場合は、按分して減額すること。)

参考書式

見積書/内訳書(請求書)

山田 太郎 様

宛名は本人宛
(名字のみ可)

〇〇工務店
所在地

〇〇年〇月〇日

事業所印

内訳書の日付は必ず
工事完了以降の日付
を記入してください。

事業所印は見積書・
内訳書・領収書すべ
て統一してください。

写真番号	名称	内容(仕様)	単位	数量	単価	金額	介護保険 対象部分	算出根拠
	便器の取替・段差解消							
①	トイレ改修	床改修 和式水洗便器を洋式水 洗便器に取替え						
	既存床材撤去	床板、床軸組共	式	1		〇〇〇	〇〇〇	
						〇〇〇	〇〇〇	
	便器撤去		式	1		〇〇〇	〇〇〇	
	根太掛	桧 2.000×105×45	本	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	必要長さ×ロス分
	根太	桧 2.000×45×45	本	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	必要長さ×ロス分
	幅木	杉 2.000×60×12	枚	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	必要長さ×ロス分
	床ラワン合板(2枚貼り)	(床面積分)1.82×0.91×〇枚	枚	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	床面積×ロス分
	壁一部ラワン合板	壁一部面積〇㎡	枚	〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	壁面積×ロス分 (壁の長さ×0.2(高さ))
	大工手間		式	1		〇〇	〇〇	
	床クッションフロア—	メーカー名〇〇 型番△△	㎡	〇	〇〇	〇〇	〇〇	床面積×ロス分
	同上 貼手間		式	1		〇〇〇	〇〇〇	
	壁一部クロス	メーカー名〇〇 型番△△	㎡	〇	〇〇	〇〇	〇〇	壁面積×ロス分 (壁の長さ×0.2(高さ))
	同上 貼手間		式	1		〇〇	〇〇	

○床改修の全体部分が
分かるように写真を撮っ
てください。
平面図には寸法を入れ、
改修箇所が分かるように
斜線等でマーキングして
ください。
○合板を2重に貼る場合
は2枚貼りと明記してくだ
さい。
○壁一部補修について
は高さ200mm程度ま
で認めます。

写真番号	名称	内容(仕様)	単位	数量	単価	金額	介護保険 対象部分	算出根拠
	洋式便器	メーカー名〇〇 型番△△	台	〇		〇〇	〇〇	定価×0.8程度
	洋式便座	メーカー名〇〇 型番△△	台	〇		〇〇	〇〇	定価×0.8程度
	タンク	メーカー名〇〇 型番△△	台	〇		〇〇〇	〇〇〇	定価×0.8程度
	取付手間		式	1		〇〇〇	〇〇〇	
②	給排水管及び汚水管移設	材工共	式	1		〇〇〇	〇〇〇	
	電気・コンセント新設	材工共	ヶ所	1		〇〇〇		
	残材処分		式	1		〇〇〇	〇〇〇	
	計					〇〇〇	〇〇〇	

○諸経費は工事費用総額の1割まで認めます。

○工事費用が変更となった場合、工事費用に応じて諸経費・取付費を計上してください。(工事費用が減額の場合は、按分して減額すること。)

○給排水管移設及び汚水管移設の対象は既設につなぐ部分です。(長さ100cm程度を認めます。)
○電気・コンセントについては新設は認められませんが既設部品の移設については対象となります。その際、既設部分の写真及び平面図への記入漏れがないようにしてください。
(事後)
全体が分かるように写真を撮ってください。根太・大引等の下地工事を伴う場合は、下地の工程写真を添付してください。